

あゆみ

特集

逆流性食道炎について



寄稿

消化器内科

上田 うえだ

基文 もとふみ

医師

逆流性食道炎とは

逆流性食道炎とは主に胃酸の逆流によって食道に炎症を来す疾患です。内視鏡検査で食道粘膜がただれている所見があれば逆流性食道炎と診断されます。代表的な症状は胸焼けと呑酸です。逆流性食道炎の方は日本人の10%いると言われており、症状があっても内視鏡検査で食道粘膜に炎症を認めない非びらん性胃食道逆流症(NERD)と合わせた胃食道逆流症(GERD)は日本人の20%がかかっていると推定されています。

症状

最も多いのは胸焼けと呑酸です。胸やみぞおちあたりの焼けるような感覚や、逆流した酸が口や喉まで上がるのを感じる症状です。その他には胸痛、慢性咳嗽、喘息、咽頭喉頭炎等があり、睡眠障害との関連も指摘されています。

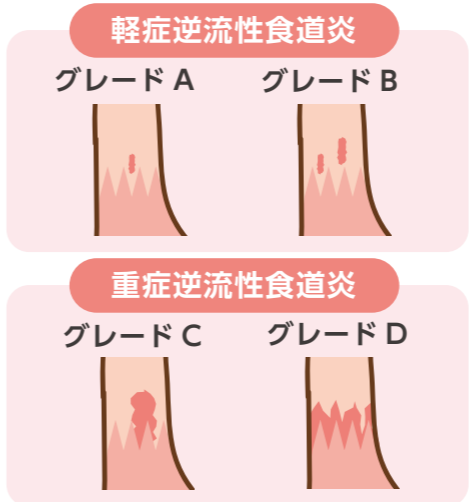


診断と分類

上部消化管内視鏡検査(いわゆる胃カメラ)で診断できます。重症度分類には改訂ロサンゼルス分類が日本では広く用いられおり、食道粘膜障害の程度によりグレードN、MとA、Dに分けられます。グレードA・Bは軽症逆流性食道炎、グレードC・Dは重症逆流性食道炎であり、重症例では出血や食道狭窄の原因となる可能性が高まります。ただし、内視鏡的な重症度は自覚症状と必ずしも相関しないこと、例えば高齢者や糖尿病患者では症状があまりないことがあり注意が必要です。また内服治療開始後だと厳密な重症度判定はできないことにも注意が必要です。

原因

胃酸の逆流は健康な人でも起こりますが、何らかの原因で逆流の時間が長くなると、食道粘膜は胃酸に弱いため炎症を起こしてしまいます。食道から胃に入るところにある下部食道括約筋(LES)は逆流防止のための重要な働きをしており、食道裂孔ヘルニアや食道運動障害があると逆流性食道炎の原因となります。また激しい運動、高脂肪食の摂取、食べ過ぎや飲み過ぎ、肥満、骨粗鬆症等で起こる円背、ストレス、LES圧を低下させる薬剤等が原因となることもあります。

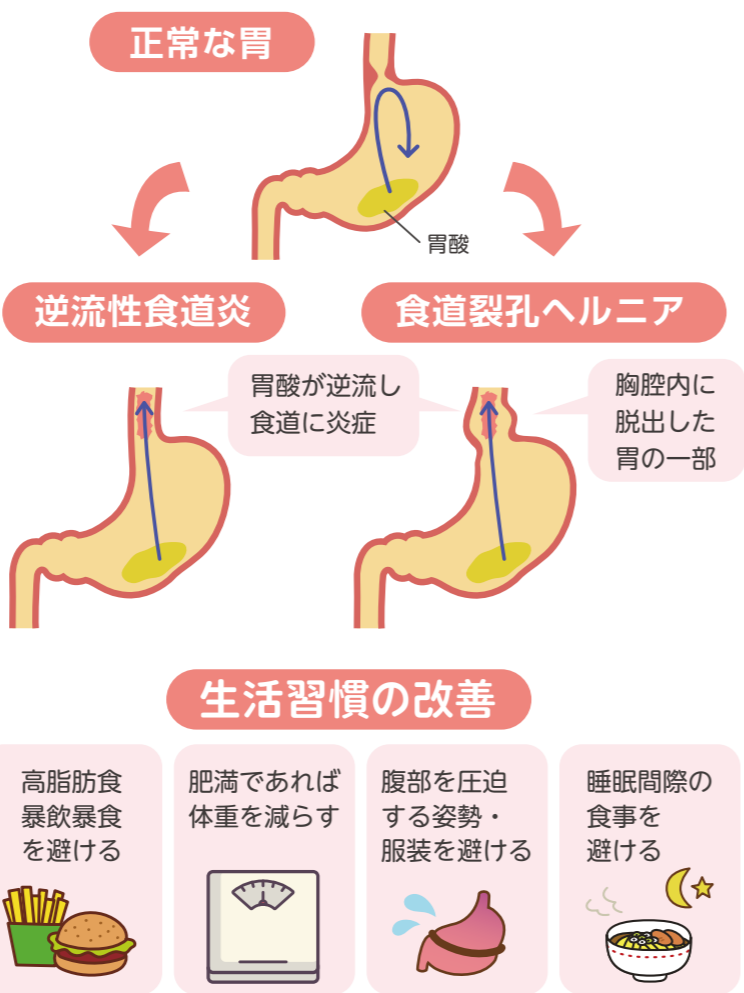


食道裂孔ヘルニアについて

逆流性食道炎のリスク因子の一つに食道裂孔ヘルニアがあります。食道裂孔を通して胃の一部が胸腔内に脱出する状態で多くの場合内視鏡検査で診断されます。重度のものでは食事の通過障害や誤嚥性肺炎を来す場合もあります。加齢とともに頻度は増え、妊娠や肥満、夜食習慣による腹圧の上昇、外傷なども原因として考えられています。高齢者人口の増加に伴い高度の食道裂孔ヘルニア患者も増加しています。

逆流性食道炎の治療

主な治療は胃酸を抑える薬の内服です。酸分泌抑制薬の中でプロトンポンプ阻害薬(PPI)やより強力な酸分泌抑制作用をもつカリウムイオン競合型アシッドブロッカー(P-CAB)を用いることで症状の改善や粘膜障害



の治療を目指します。その他にもアルギン酸や漢方薬を併用することで症状的改善が得られる場合もあります。長期的には出血や狭窄等の合併症の予防も重要であり、特に重症例では積極的な維持療法が必要で、内視鏡検査で状態を定期的に把握しながら内服治療を続けることを検討します。そして内服治療と併せて重要なのは生活習慣の改善です。原因として挙げ

た高脂肪食や暴飲暴食は避けるべきであり、肥満であれば体重を減らすことも治療に繋がります。さらに腹部を圧迫するような姿勢(前屈みな状態を続ける)や服装を避ける、睡眠間際の食事を避けるといったことが含まれます。これらの治療で十分な効果が得られない場合には原因を把握した上で内視鏡治療や外科的治療を考慮する必要があります。

おわりに

逆流性食道炎は胸焼けや呑酸等の症状が長引くことのある病気です。内服治療とともに生活習慣の改善も重要な要素です。重症例では食道狭窄や出血を伴うこともあり、長期的にはそれらの予防を考慮した治療が必要となります。

同じような症状でも逆流性食道炎以外の食道炎や、食道癌を含めた重大な病気が隠れていることもあります。短期間の内服治療で症状が改善しない、一時的によくなくても中止するとまた症状が出てきてしまう等、症状が長引く場合や気になることがあれば、内視鏡検査を含め消化器内科へご相談ください。

上田 基文 医師
診察日・受付時間
火曜 13:00~16:30
木曜・土曜 8:00~11:30
(木曜月1回休診)

会田征彦氏瑞宝双光章受章祝賀会

この度、会田理事長が令和5年秋の叙勲において「瑞宝双光章」を受章されました。
この栄誉を讃えるべく3月9日(土)郡山ビューホテルアネックスにて、受章祝賀会を開催しました。
会田理事長には、今後も引き続き地域の皆さんの健康を守るためにご尽力いただきたいと思います。



開会の辞 会田病院 副院長 小池荘介



祝 会田征彦氏瑞宝双光章受章祝賀会

受章者謝辞 会田病院 理事長 会田征彦



花束贈呈 会田病院 理事 鈴木洋子から



花束贈呈 お孫さんたちから



会田理事長お祝い動画放映



閉会の辞 会田病院 副理事長 会田北斗

NEWS (お知らせ) × INFO (情報) × EVENT (行事)

3病棟
豆まき



2月9日に3病棟で節分の豆まきを開催しました。鬼に扮したスタッフに元気よく豆を投げ、病や災い(=鬼)を祓うことが出来たと思います。

介護の日川柳 入賞作品発表



最優秀賞

あたたかな 笑顔の奥に 母を見る S・H

優秀賞

スタッフの 笑顔は皆を 元気にし O・K

昨年の介護の日に、介護にちなんだ川柳を公募したところ、たくさんの素敵な川柳のご応募をいただきました。
優劣をつけることは心苦しかったのですが外来ロビーにてご紹介いたしました。

2024年度入社式

2024年4月1日に入社式を行い、13名の新たな職員を迎え新年度がスタートしました。新入職員の内訳は、看護職4名、介護職1名、医療技術職7名、社会福祉士1名です。



新入職員からひとこと

入社式を終え、不安な気持ちもありますが、先輩方のご指導の下、医療人・社会人としてあるべき姿を学び、患者様が安心できる医療を提供していきたいと思っております。また、他職種との連携やご家族様との関わりを大切にし、患者様が本当に必要としている医療を提供することができるよう、努めてまいります。



令和6年1月4日、会田病院講義室にて、永年勤続表彰式が行われ、勤続10年の方14名、20年の方1名、30年の方1名、40年の方1名、計17名全員が出席し、会田理事長から表彰されました。表彰式では会田理事長から労いと感謝の言葉をいただき、入職当初のことを思い出し、胸がいっぱいになりました。このような表彰式を開催していただき、本当にありがとうございます。

勤続40年という長い年月を振り返ってみますと、就職する時には右も左も分からず、期待と不安でいっぱいでしたが、今となっては楽しい思い出ばかりです。

家庭を持ち、子育てをしながら患者様に寄り添い、時には辛いこともありましたが、充実した毎日だったと感じております。

長年、会田病院で働き続けてこられたのは、諸先生方、先輩方からのご指導とご協力のおかげだと思っております。

また、励まし合い、刺激しあいが、切磋琢磨してきた同僚は、私にとってかけがえのないものとなっております。

永年勤続表彰を受賞して



この永年勤続の表彰を受けたことを胸に、これからも仕事に励みながら、病院の発展に尽くしてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

看護部

看護師 石堂 優子

🔍 スタッフ募集中

共に働くスタッフを募集しています。地域に根ざし、愛され、心が通う病院づくりに積極的に取り組み、地域社会に貢献したいと考えています。募集内容は当院ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】人事・経理課

【電話】0248-42-2121

【メールアドレス】ahp@aida-hp.or.jp

【ホームページ】

<http://aida-hp.or.jp/recruit/>



医師 紹介

新任

国際医療福祉大学病院 耳鼻咽喉科部長
国際医療福祉大学 医学部教授

とうの てつや
東野 哲也 教授

2024年4月開設
難聴外来のご案内

予約制

- 東野哲也教授のもと、国際医療福祉大学病院医師による難聴外来を4月から開設します。
なお、東野教授の診察日は不定期となりますので、お問い合わせ下さい。
- 専門の言語聴覚士が補聴器の相談にも応じますので、当院の難聴外来をお気軽にご利用ください。

診察日・受付時間

予約制

毎月 第2・第4水曜日(午後) | 13:00~16:30

※2024年4月の診察日 4月17日(水) 診察医師 東野哲也

※2024年4月のみ第3水曜日となっております。

ご挨拶

耳鼻咽喉科医として40年間、新しい難聴治療の開発に取り組んできました。難聴の原因は「歳のせい」だけではありません。難聴の原因を診断し、個人個人の難聴の病態に応じた治療と難聴の程度に応じた補聴が必要です。専門の言語聴覚士が補聴器の相談にも応じますので、当院の難聴外来をお気軽にご利用ください。



会田病院の理念

かけがえのない、ひとり一人の命と健康を守るために、最良の医療を提供し、保健・医療・介護・福祉の充実をはかり、地域社会に貢献します。

公益財団法人

会田病院

理事長 会田 征彦

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町216番地

TEL 0248-42-2121

FAX 0248-42-2348 WEB aida-hp.or.jp

併設 健診センター

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町216番地
TEL 0248-42-3592 FAX 0248-42-2226

併設 すみれ訪問看護ステーション

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-44-2566 (FAX兼)

併設 会田病院指定居宅療養管理指導事業所

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-42-5407 (FAX兼)

併設 すみれ介護相談センター

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-42-3755 FAX 0248-42-3781

併設 会田通所リハビリテーション

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町260番地
TEL 0248-42-2260 FAX 0248-42-2135



無料送迎バスのご案内

会田病院では、ご自宅と病院を無料でつなぐ送迎バスを運行しています。ご予約は下記までお気軽にお電話ください。

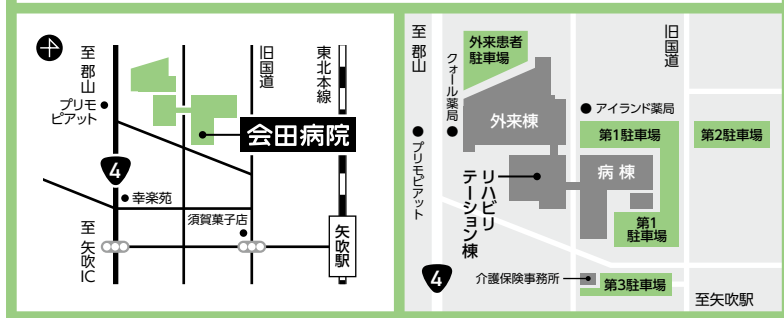
ご予約時間 月～金 13:00～16:30 | 土 9:00～12:00

ご予約はコチラ ▶ 0248-42-2121

- 1 ご予約は送迎前日の午後4時30分までをお願いします。
- 2 乗車時間はご指定いただけません。



アクセスと駐車場のご案内



外来診療担当について

外来診療担当は、当院のホームページにてご確認ください。院内で配布している「外来診療担当のご案内」をご覧ください。

[ホームページ]
<http://aida-hp.or.jp/attending/>



ご意見ご感想を募集中です

「あゆり」に関するご意見、ご感想を募集しております。特集してほしい内容や改善ポイントなど内容は問いません。宛先は下記の通りです。

[宛先] 福島県西白河郡矢吹町本町216番地
公益財団法人会田病院 広報編集委員会
[メールアドレス] ahp@aida-hp.or.jp

[発行]
公益財団法人会田病院

[編集]
広報編集委員会

[発行日]
2024年4月15日